

民主主義を
突き崩す安倍政権

市民と野党の共闘で打倒を

京都国政報告会に210人

こくた、井上、倉林議員が報告

日本共産党京都府委員会は12日、京都市中京区で国政報告会を行い、こくた恵二衆院議員、井上哲士（比例）、倉林明子（選挙区）両参院議員が報告。会場いっぱいの210人が参加しました。

●こくた氏「野党共闘が安倍政権を追い詰めている」

こくた氏は、安倍政権の下で民主主義の土台をこわす異常事態が続発していることを告発。同時に国民の怒りが広がる中で野党共闘が前進していることをリアルに語りました。総選挙後、野党共闘の前進の場になっているのが野党国対委員長連絡会（野国連）です。公式の野党国対委員長会談とは別に、野党間の認識と情報の交換・意思統一の場として毎週水曜日、事態が緊迫すれば毎日開催。「みんなで考え、みんなで行動」しています。

こくた氏は、この中で戦術が発展していることを紹介しました。▽野党合同ヒアリング…一つ一つの分野で追及▽院内決起集会…外向けのアピールだけでなく、国会議員が認識を一致させ、たたかいの方向を確認する場になっている▽15年ぶりに野党共同で予算組み替え動議を提出▽証人喚問、参考人質疑を実現。裁量労働制データのねつ造を明らかにさせ、そのことを通じて裁量労働制の拡大をやめさせた。そして参議院選挙での野党共闘についてこくた氏は社民党大会（2月24日）で野党5党首が候補者一本化の決意を表明したことを非常に重要だと強調。最後に市民と野党の共闘で安倍政権打倒をと呼びかけました。

●井上氏 北朝鮮問題を報告。「圧力一辺倒でなく、対話による平和的解決が唯一の道」と言い続けてきたことを紹介。「いま、その方向で非核化、平和の流れが進んでいる」と強調しました。

●倉林氏 参院選で党が躍進し国会が劇的に変わっていることを紹介。同時に委員会に複数の共産党委員がいればどんなに多くの仕事ができるかを実感を込めて語り、参院選勝利の決意をのべました。



比例で共産党の票が伸びてこそ定数2で勝利できる

倉林参院議員は報告の冒頭で次のように訴えました。「京都選挙区、定数2で勝たせていただくためにも比例代表で日本共産党が本当に大きくなるのが土台になると思うんです。全国で比例850万票、京都では30万票をめざします。日本共産党の票が伸びれば私も2期目の展望が開けてくる。前回、選挙区では7人が乱立し22万弱の得票で勝てた、本当に奇跡のような勝利だったんです。日本共産党の大波を起こしていただく中で、倉林明子と書いていただける人を大いに増やし再び国会で働かせてください」



近畿
いっせい宣伝

22%の支部、2300人が622カ所「安倍アカン」「9条守れ」の声

11日に行われた近畿いっせい宣伝は21.8%の支部、2332人、347議員が参加し622カ所で実施。今年最高の取り組みになりました。「安倍アカン」と3人が署名（大阪中地区）、ピラの受け取りよく声援が多くなってきた（同西淀・此花地区）、「憲法9条を守りましょ」と声をかけると反応がある（京都・二条城駅前）、わざわざピラを受け取りに来る人も（京都・天王山駅）などの反応があり、支部の手作りプラスタも出して目立つ宣伝も行われました（滋賀・石部駅）。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 23(2018.5.14)